

やまがた木育プログラム体験会

サクランボのアイススプーン & スギのストラップづくり クラッピンサガエ



令和8年2月1日（水・祝）に寒河江市のクラッピンサガエにて、やまがた木育プログラムの体験会「サクランボのアイススプーン&スギのストラップづくり」を開催しました。

今回の講師は明日美幸さん、大山正平さん、鈴木美穂さん、松田泰之さんが務めました。会場には多くのお子様がいらっしゃり、体験中、研修室そばに設置した木製屋台の木琴を楽しいげに鳴らす音がたびたび室内に響いていました。

木育体験は、さくらんぼの名産地、寒河江にちなんだサクランボの木を材料としたアイススプーンづくりと、小さなお子様にも安全に楽しんでいただけるスギのストラップづくりを用意して行いました。木育講話は、今回の木育体験の題材であるサクランボやスギ、さらに山形の代表的な天然林を構成するブナを紹介



作成日
2026年3月5日
やまがた森林と緑の推進機構 緑化推進課

ひとこと

する内容で、明日先生に作成いただいたスライドを上映しながら実施しました。

サクランボのアイススプーンづくりでは、クラフトナイフの練習として、まず鉛筆削りに取り組んでいただいていた制作を行いました。

スギのストラップづくりは、小さなお子様でも気軽に取組める内容であるため、クラッピンサガエへ遊びに訪れたお子様に広く楽しんでいただけました。

参加者の皆様には体験を楽しみ、山形の木に関心を寄せただけなく、今年度最後の木育体験として満足な活動ができました。



上：木製屋台 木琴
下：会場展示 サクランボのアイススプーン・スギのストラップ

【参加された方の感想】

- ・みなさんやさしく教えてくれて楽しく勉強体験ができました！今度また機会があったらやってみたいです！
- ・2歳の子でも大人と一緒に楽しんで作ることができました。木の感触を体験できて新鮮でした。
- ・木の学びもあり、6歳児にもわかりやすかったです。

【スタッフの振り返り・感想】

- ・子育て施設が豊富なところは山形の長所。木育にも活かしていきたい。
- ・子育て施設は子どもたちが遊ぶぞ、というつもりで来るために、小刀のような難しい体験に集中できない懸念がある。相手と場所に合った体験を実施できればと思う。

今年度最後のやまがた木育プログラム体験会の開催地として、とてもいい場所をお借りして締めくくることができました。木が豊富に使われている子育て施設が多いことは山形の大きな長所である、と講師陣との振り返りでも話題となりました。

今回の体験会は、指導のみならず、講師陣からの様々なご助力で支えていただきました。改めて感謝申し上げます。今後とも、よろしくお願いいたします。（担当Y）

32名の方に
参加いただきました！

県民みんなで
支える森づくり



やまがた緑環境税

